

第 22 回全国大会

日本中世英語英文学会

2006 年 12 月 9 日 (土)・10 日 (日)

京都産業大学
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1817 (横山茂樹研究室)

12 月 9 日 (土) 12:45-18:05

シンポジウム

“The Linguistic and Literary Context of the *Ancrene Wisse* Group”

司会・総論 池上恵子 (大東文化大学)

The Structure of *Ancrene Wisse*

Bella Millett (University of Southampton)

A Study of Loan Words in the *Ancrene Wisse* Group Texts

小野祥子 (東京女子大学)

Variation in Inflectional Morphology in *Ancrene Wisse* Manuscripts

田辺春美 (成蹊大学)

Deviant or Central? The Puzzle of the Gonville and Caius Manuscript John Scahill (慶應義塾大学)

コメンテーター 和田葉子 (関西大学)

研究発表

1. 逃げ去る者たちと留まる者たち *The Battle of Maldon* における Byrhtn ð の英雄性と家臣たちの反応
原田英子 (白百合女子大学大学院)
2. モールドンの戦いで、北欧人はアングロ・サクソン人と自分の母語で言葉を交わしたか?
伊藤 盡 (杏林大学)
3. *Beowulf* における王とその複合語
三木泰弘 (青山学院大学)
4. 古英詩における weak man
寺澤 盾 (東京大学)
5. *Electronic Beowulf* の text と glossary について
小山良一 (新潟工科大学)
6. 初期古英語散文における「期間」を意味する対格と前置詞形
佐藤桐子 (明星大学)

研究発表

7. サー・トマス・マロリー『アーサー王物語』における談話標識
片見彰夫 (埼玉学園大学)
8. Sir Thomas Malory の作品における地名
青木美奈 (白百合女子大学大学院)
9. 「調和」にみるチョーサーの世界観—*The Parliament of Fowls* を中心に—
本田崇洋 (関東学院大学大学院)
10. *Troilus and Criseyde* における世代とジェンダー: Pandarus おじさん vs. Criseyde おばさん
春田節子 (白百合女子大学)
11. ‘Now opyn yowr sachell wyth Laten wordys’—『マンカインド』とサイクル劇におけるラテン語と法的語彙について—
末松良道 (武蔵野大学)
12. *Cursor Mundi* における (for) to 付き不定詞 特に (for) to 付き不定詞と先行する名詞との文法関係について
篠田義博 (県立広島大学)

12月10日(日) 10:00-12:45

シンポジウムII

「*Beowulf* を読み直す」

司会・総論 忍足欣四郎(都立大学名誉教授)

怪物たちの住処は湖か海か

忍足欣四郎(都立大学名誉教授)

「フローズンガール王の説教」の意図は何か

苅部恒徳(新潟国際情報大学・新潟大学名誉教授)

『ベーオウルフ』における動詞 *weorðian* の意味をめぐって

衛藤安治(福島大学)

nacod niðdraca (*Beowulf* 2273) 再考

渡辺秀樹(大阪大学)

シンポジウムIII

「中世後期イングランドにおける危機と変化—文学・宗教・政治」

司会・総論 松田隆美(慶應義塾大学)

vision から allegory へ - 中世後期における異界の断片化

松田隆美(慶應義塾大学)

マージェリー・ケンプの危機

諸霊の識別、異端ロード、そしてジェンダーをめぐって

久木田直江(静岡大学)

1381年の農民一揆と王権の危機

国王の慈悲と正義をめぐるガウアーの考察

小林宜子(東京大学)

14世紀から15世紀にかけての説教術をめぐる文化的摩擦

赤江雄一(日本学術振興会特別研究員)

研究発表III (5号館4階 5405教室)

13. *The ME Physiologus* における脚韻 *vuenest (sic) - gast* (ll. 575 - 6)

狩野晃一(駒澤大学)

14. *Lambeth Psalter* における屈折語尾 *-un* について

市川 誠(青山学院大学大学院)

15. 初期中英語南部方言における名詞複数形態の分布と発展

堀田隆一(神奈川大学)

* 学会受付は 12月9日(土) 11:30 から5号館1階談話コーナー前にて行います。

日本中世英語英文学会 (会長 久保内端郎)

事務局 〒739-8522 広島県東広島市鏡山 1-2-3 広島大学大学院文学研究科地村彰之研究室内

TEL 082-424-6678/FAX 082-424-6683

[大会準備委員会] 鈴木敬了(委員長) 大野英志 唐澤一友

William Snell 谷 明信 藤井香子 辺見葉子